

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/06/18	40266	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Institution press releases, 2003 12 18	輸血を介してvCJDに感染した可能性がある患者が死亡したことをうけて、EU委員会は英国に本件に関する詳細情報の提供を要求した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20031227-0040, 2003.12.26	米国がBSEに感染したウシを食用にまわしたことについての、複数人による批判的投稿。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43(12): 1687-1694	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、パフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature medicine, 2003; 9(12), 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	MMWR, 2004; 52(53): 1280-1285	ウシ1頭が米国で初めてBSEとして確定されたことをうけて、米国及びカナダの農務省がウシの廻り調査を行っていること、FDAが感染のおそれのある製品の出荷後について調査中であること、また農務省が取った対策措置について。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Britissh Medical Journal, 2004; 328(7432): 118-119	2003年12月に世界で初めて輸血によるvCJDの感染の可能性のある症例が英国で報告されたことから、今後の感染リスクを最小限にとどめるための対策の提言。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	Pallフィルター・シリーズ(Pall Co.)はPrPscを99%以上除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA,101(9)p3065-3070(2004)	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
											インフルエンザ	OIE Alert messages, 2004.1.13	山口県で発生した鳥インフルエンザ集団感染の原因は、亜型H5N1と同定されたが、起源については調査中であり伝播ルートも不明である。
											インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record, 2004; 79(7), 65-70	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ感染症例を中心に検証した。
											インフルエンザ	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(19): 1812-20	トリインフルエンザと診断されたベトナムの10症例は、感染鶏から直接感染したと思われるが、遺伝子の混ぜ合わせと人から人感染が起きた可能性がある。
											A型肝炎	ABC Newsletter 2003.11.14	米国のレストランにおけるA型肝炎集団感染を受けて、血液センターは当該レストランで食事したか田舎の質問項目を追加した。
											A型肝炎	Journal of Medical Virology 72: 10-16, 2004	HAV感染について、HAVウイルス量、栄化学及び特異的血清学的マーカーの相関について調べた。HAV IgMやHAV抗体とは相関がないが、ALT値のピークと直接的に相関していることが示唆された。
											C型肝炎	Hepatology, 2003; Vol.38: 156A-818A	長期にわたって原因不明の肝機能が異常の患者100人について、HCV-RNAの複製を示唆するマイナスRNA量が84.2%で見られた。
											C型肝炎型肝炎	Transfusion, 2003, Vol.43(Sep. Supplement), S107-040G	HCVは初期のウィンドウペリオド期間中に、血漿中1~5/50mLのRNAで感染可能である。病原体を除去することがNAT検査が無い場合、安全確保につながる。
											デング熱ウイルス感染	Britissh Medical Journal, 2003; 327(7428): 1368-e	アジア各国におけるデング熱の流行について、適切に治療すれば致死率は1%以下である。医療制度の質と医療従事者の経験や潜在的な危険の認識に左右される。
											デング熱ウイルス感染	ProMED 02/18,2004	アジア各国におけるデング熱の流行状況の続報。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter 2004.1.30	アイルランド輸血サービスは、年間を通じて米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。
											ウエストナイルウイルス	AABB, 2004 Spring, the Executive perspective	WNVは年間を通じて感染の可能性があるため、多くの採血施設(米国)は年間を通じてテストを行うことを決めた。
											リユーシュマニア症	ABC News letter, 2004.1.30	BPAC(Blood Product Advisory Committee)は全血について、リユーシュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。
											リユーシュマニア症	Journal of Infectious Disease, 2004; 189: 1018-23	リユーシュマニア症治療後の患者について、瘢痕からリユーシュマニアに特異的なDNAが検出された。
											E型肝炎	Hepatology Research, 27(2003), 169-173	国立感染症研の方による論文。東京及び東京近郊の薬千人を対象にHEV IgG抗体の保有率を調査した。肝障害を有する15.4%にHEV IgG抗体が検出された。
											HIV感染	AABB weekly report; 10(1) 2004.1.12	日赤のNAT検査導入後初めて、輸血用血液製剤によるHIV感染が確認された。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Clinical Microbiology, Jan.2004, 347-350	SARSコロナウイルスのウイルス量はreal-timePCRにより、感染初期(1週間)の患者血液から測定できる。
											バベシア症	Transfusion, 2003, Vol.43(Sep. Supplement), S44-030H	米国において、Babesia microtiがゲインとなる輸血後バベシア症が40症例以上報告されている。(日本でも海外渡航歴の無い献血者からの血液による、輸血後感染事例が1例ある1999年)
											レンサ球菌性敗血症	Transfusion, 2003, Vol.43 (9s), SP7	米国において発生した、B群連鎖球菌による輸血後敗血症性血小板輸血反応を起こした症例2例の報告。(日赤は輸血用血液製剤中の最近の検出方法及び感染性因子の不活化について検討中)
											エールリツヒア症	Transfusion, 2003, Vol.43 (9s), SP8	米国でAnaplasma phagocytophilumによる輸血後感染(疑い)症例が過去に1例あった。コネティカット州の2001年2002年の抗体陽性率が1996年とほぼ同程度であった。
											アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病)	Emerging infectious diseases, 2003, 9(12), 1558-1562	Trypanosoma cruzi感染について、PCR法とIgG抗体検査による検査結果の比較。194人中80人は血清学的検査で陰性であったがPCRで陽性であった。
											細菌感染	aaBB Weekly Report, 2004.2.13	血小板製剤中の最近汚染検出のためのガイドラインをaaBBが発行する(2004.03.01)。
											該当無し	The pediatric Infectious Disease Journal, Vol.22, No.12 Dec 2003: 1093-6	サル痘(天然痘に似ているがより軽症)に感染した小児の事例について。アフリカから米国へ輸入された小型哺乳類からイヌに感染し、さらに小児へ感染した。アフリカでの前例2例と同様の所見であった。
											該当無し	Sience Vol303, 1121, 2004.02.20	バングラデシュで起きたニバ(様)ウイルス感染の流行について。今回の流行で始めてウイルス分離ができたので、CDCがニバかどうか判別するだろう。治療法は無く、ワクチンは開発段階にある。
											該当無し	Virus Research 100(2004) 223-228	小児におけるSENウイルスの感染についてケースコントロールスタディを行った。SENV-D、SENV-Hとも急性・慢性肝炎には関与しなかったが、SENV-Dは劇症肝炎の危険因子となる可能性がある。
2004/06/18	40267	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	有り	無し	クワイツフェルト・ヤコブ病	EU Institution press releases, 2003 12 18	輸血を介してvCJDに感染した可能性がある患者が死亡したことをうけて、EU委員会は英国に本件に関する詳細情報の提供を要求した。
											クワイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail, 20031227-0040, 2003.12.26	米国がBSEに感染したウシを食用にまわしたことについての、複数人による批判的投稿。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43(12): 1687-1694	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、パフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature medicine. 2003; 9(12), 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	MMWR. 2004; 52(53): 1280-1285	ウシ1頭が米国で初めてBSEとして確定されたことをうけて、米国及びカナダの農務省がウシの廻り調査を行っていること、FDAが感染のおそれのある製品の出荷後について調査中であること、また農務省が取った対策措置について。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal. 2004; 328(7432): 118-119	2003年12月に世界で初めて輸血によるvCJDの感染の可能性のある症例が英国で報告されたことから、今後の感染リスクを最小限にとどめるための対策の提言。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	Pallフィルター・シリーズ(Pall Co.)はPrPscを99%以上除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA.101(9)p3065-3070(2004)	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Biologicals. 2004; 32(1): 1-10	血漿製剤の製造工程において用いられるナノ濾過により、CJD感染因子(スクレイビー羊脳ホモジネート、精製されたスクレイビー因子)が除去できる。
											インフルエンザ	OIE Alert messages. 2004.1.13	山口県で発生した鳥インフルエンザ集団感染の原因は、亜型H5N1と同定されたが、起源については調査中であり伝播ルートも不明である。
											インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record. 2004; 79(7). 65-70	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ感染症例を中心に検証した。
											インフルエンザ	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(19): 1812-20	トリインフルエンザと診断されたベトナムの10症例は、感染鶏から直接感染したと思われるが、遺伝子の混ぜ合わせと人から人感染が起きた可能性がある。
											A型肝炎	ABC Newsletter 2003.11.14	米国のレストランにおけるA型肝炎集団感染を受けて、血液センターは当該レストランで食事したか田舎の質問項目を追加した。
											A型肝炎	Journal of Medical Virology 72: 10-16, 2004	HAV感染について、HAVウイルス量、栄化学及び特異的血清学的マーカーの相関について調べた。HAV IgMやHAV抗体とは相関がないが、ALT値のピークと直接的に相関していることが示唆された。
											C型肝炎	Hepatology. 2003; Vol.38: 156A-818A	長期にわたって原因不明の肝機能が異常の患者100人について、HCV-RNAの複製を示唆するマイナスRNA鎖が84.2%で見られた。
											C型肝炎型肝炎	Transfusion. 2003, Vol.43(Sep. Supplement), S107-040G	HCVは初期のウィンドウピリオド期間中に、血漿中1~5/50mlのRNAで感染可能である。病原体を除去することがNAT検査が無い場合の、安全確保につながる。
											デング熱ウイルス感染	British Medical Journal. 2003; 327(7428): 1368-e	アジア各国におけるデング熱の流行について。適切に治療すれば致死率は1%以下である。医療制度の質と医療従事者の経験や潜在的な危険の認識に左右される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											デング熱ウイルス感染	ProMED 02/18,2004	アジア各国におけるデング熱の流行状況の続報。
											ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter 2004.1.30	アイルランド輸血サービスは、年間を通じて米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。
											ウエストナイルウイルス	AABB, 2004 Spring, the Executive perspective	WNVは年間を通じて感染の可能性があるため、多くの採血施設(米国)は年間を通じてテストを行うことを決めた。
											リ्यू-シュマニア症	AABB Weekly Report, 2003; 9(44): 3	BPAC(Blood Product Advisory Committee)は全血について、リ्यू-シュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。
											リ्यू-シュマニア症	Journal of Infectious Disease, 2004; 189: 1018-23	リ्यू-シュマニア症治療後の患者について、瘰癧からリ्यू-シュマニアに特異的なDNAが検出された。
											E型肝炎	Hepatology Research, 27(2003), 169-173	国立感染症研の方による論文。東京及び東京近郊の薬千人を対象にHEV IgG抗体の保有率を調査した。肝障害を有する15.4%にHEV IgG抗体が検出された。
											HIV感染	AABB weekly report; 10(1) 2004.1.12	日赤のNAT検査導入後初めて、輸血用血液製剤によるHIV感染が確認された。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Clinical Microbiology, Jan.2004, 347-350	SARSコロナウイルスのウイルス量はreal-timePCRにより、感染初期(1週間)の患者血液から測定できる。
											バベシア症	Transfusion, 2003, Vol.43(Sep. Supplement), S44-030H	米国において、Babesia microtiがゲインとなる輸血後バベシア症が40症例以上報告されている。(日本でも海外渡航歴の無い献血者からの血液による、輸血後感染事例が1例ある1999年)
											レンサ球菌性肺血症	Transfusion, 2003, Vol.43 (9s), SP7	米国において発生した、B群連鎖球菌による輸血後敗血症性血小板輸血反応を起こした症例2例の報告。(日赤は輸血用血液製剤中の最近の検出方法及び感染性因子の不活化について検討中)
											エールリツヒア症	Transfusion, 2003, Vol.43 (9s), SP8	米国でAnaplasma phagocytophilumによる輸血後感染(疑い)症例が過去に1例あった。コネティカット州の2001年2002年の抗体陽性率が1996年とほぼ同程度であった。
											アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病)	Emerging infectious diseases, 2003, 9(12), 1558-1562	Trypanosoma cruzi感染について、PCR法とIgG抗体検査による検査結果の比較。194人中80人は血清学的検査で陰性であったがPCRで陽性であった。
											細菌感染	aaBB Weekly Report, 2004.2.13	血小板製剤中の最近汚染検出のためのガイドラインをaaBBが発行する(2004.03.01)。
											該当無し	The pediatric Infectious Disease Journal, Vol.22, No.12 Dec 2003: 1093-6	サル痘(天然痘に似ているがより軽症)に感染した小児の事例について、アフリカから米国へ輸入された小型哺乳類からイスに感染し、さらに小児へ感染した。アフリカでの前例2例と同様の所見であった。
											該当無し	Science Vol303 2004.02.20	バングラデシュで起きたニバ(様)ウイルス感染の流行について。今回の流行で始めてウイルス分離ができたので、CDCがニバかどうか判別するだろう。治療法は無く、ワクチンは開発段階にある。
											該当無し	Virus Research 100(2004) 223-228	小児におけるSENVウイルスの感染についてケースコントロールスタディを行った。SENV-D、SENV-Hとも急性・慢性肝炎には関与しなかったが、SENV-Dは劇症肝炎の危険因子となる可能性がある。
2004/06/18	40268	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無し	無し	クロイツフェルト-ヤコブ病	EU Institution press releases, 2003 12 18	輸血を介してvCJDに感染した可能性がある患者が死亡したことをうけて、EU委員会は英国に本件に関する詳細情報の提供を要求した。
											クロイツフェルト-ヤコブ病	ProMED, 20031227-0040, 2003.12.26	米国がBSEに感染したウシを食用にまわしたことについての、複数人による批判的投稿。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43(12): 1687-1694	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、パフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature medicine, 2003; 9(12), 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	MMWR. 2004; 52(53): 1280-1285	ウシ1頭が米国で初めてBSEとして確定されたことをうけて、米国及びカナダの農務省がウシの遡り調査を行っていること、FDAが感染のおそれのある製品の出荷後について調査中であること、また農務省が取った対策措置について。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal, 2004; 328(7432): 118-119	2003年12月に世界で初めて輸血によるvCJDの感染の可能性のある症例が英国で報告されたことから、今後の感染リスクを最小限にとどめるための対策の提言。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	Pallフィルター・シリーズ(Pall Co.)はPrPscを99%以上除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	羽毛分解酵素ケラチナーゼPWD-1がプリオン分解能を有する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA,101(9)p3065-3070(2004)	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Biologicals, 2004; 32(1): 1-10	血漿製剤の製造工程において用いられるナノ濾過により、CJD感染因子(スクレイビー羊脳ホモジネート、精製されたスクレイビー因子)が除去できる。
											インフルエンザ	OIE Alert messages, 2004.1.13	山口県で発生した鳥インフルエンザ集団感染の原因は、亜型H5N1と同定されたが、起源については調査中であり伝播ルートも不明である。
											インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record, 2004; 79(7), 65-70	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ感染症例を中心に検証した。
											インフルエンザ	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(19): 1812-20	トリインフルエンザと診断されたベトナムの10症例は、感染鶏から直接感染したと思われるが、遺伝子の混ぜ合わせと人から人感染が起きた可能性がある。
											A型肝炎	ABC Newsletter 2003.11.14	米国のレストランにおけるA型肝炎集団感染を受けて、血液センターは当該レストランで食事したか田舎の質問項目を追加した。
											A型肝炎	Journal of Medical Virology 72: 10-16, 2004	HAV感染について、HAVウイルス量、栄化学及び特異的血清学的マーカーの相関について調べた。HAV IgMやHAV抗体とは相関がないが、ALT値のピークと直接的に相関していることが示唆された。
											C型肝炎	Hepatology, 2003; Vol.38: 156A-818A	長期にわたって原因不明の肝機能が異常の患者100人について、HCV-RNAの複製を示唆するマイナスRNA鎖が84.2%で見られた。
											C型肝炎型肝炎	Transfusion, 2003, Vol.43(Sep. Supplement), S107-040G	HCVは初期のウィンドウペリオド期間中に、血漿中1~5/50mLのRNAで感染可能である。病原体を除去することがNAT検査が無い場合、安全確保につながる。